



社協のマーク
「社」を圖案化

社協 みさき

2022.7 第138号

発行所：社会福祉法人 岬町社会福祉協議会

TEL：072-492-0633・5700 〒599-0303

大阪府泉南郡岬町深日 3238の24

FAX：072-492-5701

ホームページ

<http://www.misakisyakyo.jp/>

岬町社協地域包括支援センター

TEL：072-425-9058 FAX：072-425-9059

みんなが主役になれる居心地のよい居場所

認知症カフェ「おにぎりサロン“喫茶Sunデー”」 オープン!!



「おにぎりサロン“喫茶Sunデー”」
は、認知症の方とご家族が主役の認知症カフェです。

当事者とボランティア、専門職が協働で、毎月1回、日曜日に岬町社会福祉協議会内でオープンしています。



11ページに岬町社会福祉協議会 正規職員募集のご案内を掲載しています。

(この広報紙の作成には共同募金配分金を活用させていただいています)

岬町 社会福祉 協議会

社会福祉協議会（社協）とは？

社会福祉協議会は、通称「**社協**」と呼ばれ、地域すべての皆さまが、明るく健やかな生活を送れるように、地域の団体・機関・施設などが話し合い、協力しあって総合的な福祉の推進を図るために設置された**民間の団体**です。平成12年に施行された社会福祉法においては、「**地域福祉の推進を図ることを目的とする団体**」として明確にされています。

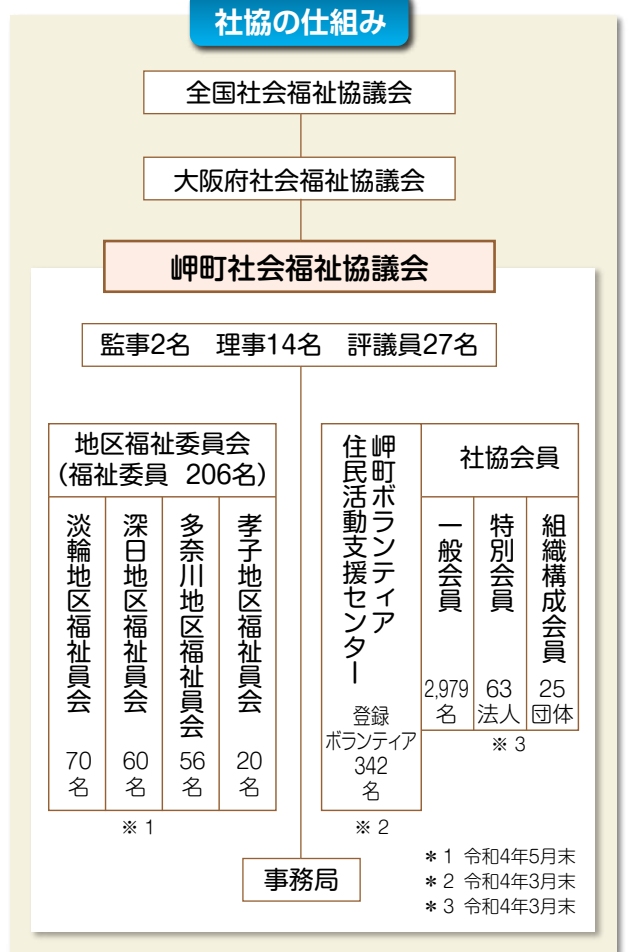
社協の歩み

戦後間もない昭和26年に、戦後の「社会救済」のため、公では担えない福祉を行う目的で、全国に中央社会福祉協議会としてはじまり、その後都道府県で設立され、そして市町村へと設置が進められました。

岬町では、昭和37年4月に岬町社会福祉協議会が創設され、低所得者や障がい者などの方々への生活福祉資金の貸付事業や住民の皆さまの困りごと、心配ごとの相談所の運営、ボランティア活動の前身となる善意銀行の奉仕活動、共同募金・歳末たすけあい運動を展開しました。

昭和53年、福祉委員会を各地区に組織、平成6年には岬町ボランティアセンターを開設し平成31年には岬町ボランティア住民活動支援センターへ生まれ変わり、福祉活動を推進しています。

社協の仕組み



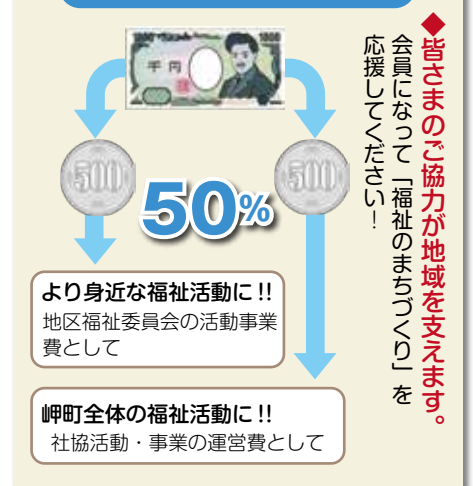
社協会員とは？

社協の趣旨・目的・事業にご賛同いただき、財政支援という形で地域福祉活動に協力、参加していただく制度です。会員であるということは、地域の一員として社協が行っている活動（4～7ページ参照）を支えていただくとともに、社協活動を知っていただくことで「わたしたちの地域」の問題を共に考えていただける機会となっています。

名称	一般会員	特別会員	組織構成会員 ※4
種別	個人	法人・事業所等	社会福祉活動を行う団体・機関・事業者
会費額	1口 1,000円	1口 10,000円	1口 5,000円

※4 社協の事業を決定する理事会、その議決機関である評議員会の選出母体となる。

一般会員会費のつかいみち



本年度も、社協の趣旨にご理解、ご賛同をいただき会員加入を賜り厚くお礼申し上げます。

皆さま方からご協力いただきました会員会費は、岬町の地域福祉活動（4～7ページ参照）の推進に活用してまいりますので、今後とも社協並びに地区福祉委員会に対しましてご理解、ご協力をお願い申し上げます。

なお、本年も会員募集にご尽力いただきました自治区長（自治区）、民生委員・児童委員、福祉委員、ボランティアの皆さま方には、心よりお礼申し上げます。今後とも、新型コロナウイルス感染拡大防止等にご配慮の上、可能な範囲でご支援・ご協力、ご参加頂ければ幸いです。

※会員募集の詳細につきましては、次号（社協みさき第139号・10月1日）にてご報告いたします。

令和3年度 決算報告(法人全体)

○資金収支計算書 (自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

収入	金額 (円)	支出	金額 (円)
会費収入	4,062,000	人件費支出	59,202,345
寄附金収入	10,283,500	事業費支出	19,234,819
経常経費補助金収入	25,676,339	事務費支出	4,583,808
受託金収入	47,763,911	分担金支出	77,000
事業収入	705,672	助成金支出	4,794,626
負担金収入	727,657	固定資産取得支出	3,384,480
介護保険事業収入	21,112,254	固定資産除却・廃棄支出	13,530
受取利息配当金収入	259	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,205,280
積立資産取崩収入	4,995,694	積立資産支出	22,433,500
その他の収入	58,000	その他の活動による支出	2,793,681
		支出合計②	117,723,069
		収支差額 (①-②)	-2,337,783
		前年度繰越金	18,398,428
収入合計①	115,385,286	当年度繰越金	16,060,645

○貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

資産の部 (円)		負債の部 (円)	
流動資産	22,621,024	流動負債	9,457,723
		固定負債	23,177,340
固定資産	116,832,307	負債の部合計	32,635,063
		純資産の部 (円)	
基本財産	48,932,028	基本金	1,000,000
		国庫補助金等特別積立金	23,104,314
その他の固定資産	67,900,279	その他の積立金	40,901,321
		次期繰越活動増減差額	41,812,633
		(うち当期活動増減差額)	17,219,140
資産の部合計	139,453,331	純資産の部合計	106,818,268
		負債及び純資産の部合計	139,453,331

ありがとう！アルミ缶ボランティア活動！

令和3年度アルミ缶収益金として162,800円集まりました。

アルミ缶ボランティア活動にご協力頂きました皆さまには、厚くお礼申し上げます。
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



移送サービス運転ボランティアを募集しています！

日常生活の中で障がい等により、公共交通機関等を利用し移動することが困難な方を対象に、自宅から医療機関までの間を車で送迎する移送サービスの運転ボランティアさんを募集しています。

お問合せ

岬町ボランティア住民活動支援センター
☎072-492-5700 / 492-0633



協 議 会 の 活 動

地区福祉委員会活動

地区福祉委員会の構成

自治区長(自治区)、民生委員・児童委員、福祉専門機関・団体、当事者組織・団体、関連分野団体、ボランティア・住民活動を行っている方 など

地区福祉委員会は、より身近な地域で福祉活動を行うことができるよう、岬町社会福祉協議会の福祉活動組織として、淡輪・深日・多奈川・孝子の各地区に組織しています。

高齢、障がい者や子育てに不安を持つ保護者等さまざまな福祉課題を抱えた人たちをはじめ、だれもが安心して暮せるまちづくりをめざす推進役として活動しています。



淡輪地区
昔の暮らし体験学習



深日地区
ふれあい喫茶修了式



多奈川地区
福祉&多奈川ハフエスタ



孝子地区
喫茶たちばな

小地域ネットワーク活動

小地域ネットワーク活動は、高齢者、障がい(児)者、子育て中の親子等支援を必要とするすべての人が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い・助け合い活動です。

見守り訪問活動による問題の早期発見やふれあい・いきいきサロン、コミュニティカフェによる健康づくり・介護予防、つながりづくり等、地域から孤立することなく生活できるよう地区福祉委員会を中心に活動を展開しています。



コミュニティカフェ



ふれあい・いきいきサロン



見守り訪問活動

福祉教育(共育)推進事業

岬町社会福祉協議会では、地域の住民が自分たちの生活や地域課題を発見し解決できる力をつけ、地域の福祉力を高めるため、大人も子どもも地域の中で共に生き、共に学びあい、共に育ちあう

「福祉共育=共に育つ力を育む」を福祉のまちづくりの基本に置いて実施しています。



福祉共育実践プレゼンテーション



車いす体験学習



福祉共育交流授業



福祉協力校推進
指定事業活動
資料集の作成・報告

岬町 社会福祉

岬町ボランティア住民活動支援センター

岬町ボランティア住民活動支援センターは、いつでも、だれでも、気軽に参加できるボランティア活動や住民活動の紹介、各種ボランティア講座の開催、ボランティア・住民活動情報や福祉情報の発信などを行っています。また、町内で大規模災害が発生した際は、平成27年4月17日に岬町と締結した「災害時におけるボランティア活動に関する協定」に基づき、「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、支援活動とセンター運営を行います。平常時からの取り組みとして、災害ボランティア養成講座を開催し、災害時に迅速な対応ができるよう活動を進めています。



介護用品配達ボランティア



心に寄り添い支え合う
地域有償活動講座



キッズボランティア



災害ボランティア養成講座

防災・減災への 取り組み



災害ボランティア活動

精神保健福祉推進事業

精神保健福祉推進事業は、こころの病がある方に対する誤解や偏見の軽減、地域であたりまえに暮らすための居場所づくりや就労体験、家族同士が交流できる場づくり等を、地区福祉委員会やボランティアグループとともに実施しています。



ほのぼのサロン



家族会あすなる

生活支援コーディネーター 設置業務事業

生活支援コーディネーターは、超高齢社会の中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、支え合い・助け合いのある地域づくりや地域で困りごとを抱えた方々へ適切に支援が届くような体制づくりを推進しています。



移動支援の体制づくり



住み続けたい地域づくり
フォーラム

協 議 会 の 活 動

福祉サービス事業

障がい者や高齢者などの方々の通院等の送迎を行う移送サービスやふれあい給食サービス、福祉機器貸出サービス等を行い、在宅生活の向上を支援しています。



ふれあい給食サービス



移送サービス



介護用品給付サービス



福祉機器貸出サービス

日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は、高齢や障がい等により判断能力の不十分な方が、安心して自立した生活を送れるように金銭管理や福祉サービスの利用援助等の支援を行っています。



金銭管理サービス



権利擁護講座

共同募金運動・歳末たすけあい運動

赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の問題解決に取り組む民間団体を支援する仕組みとして、また住民の皆さまのやさしさや思いやりを届ける運動として推進しています。集まった募金は、身近な地域の福祉活動や大規模な災害が起こった際の災害支援などへ配分されています。



運動の様子



歳末たすけあい運動
福祉団体等助成金事業（贈呈式）



歳末たすけあい「見守り・訪問活動等」
岬町民生委員児童委員協議会助成金事業

岬町 社会福祉

介護予防・自立支援事業

介護予防・自立支援事業は、家族介護者の心と身体が健康で充実した介護が行え、要介護者も地域とつながり、ほほえみこぼれる介護を目指して、介護者(家族)の会「ほほえみ」と協働で介護講座の開催や介護者・家族交流会等の活動を実施しています。また、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、認知症支援推進の一環として、認知症カフェ「おにぎりサロン“喫茶Sunデー”」の開催などに取り組んでいます。



介護講座



「ほほえみ」による見守り訪問



喫茶Sunデー

岬町社会福祉施設等連絡会・福祉施設協働事業

岬町社会福祉施設等連絡会・福祉施設協働事業は、町内の社会福祉法人や福祉施設が、事業種別を超え連携して地域の生活課題や福祉課題の解決を図るために活動を推進しています。具体的な取り組みとしては、生活支援型多機能バス「結」号を協働運行し、地域のサロンに「来ない方・来られない方」を対象に個別訪問等の支援を行っています。「結」号の利用者の想いから専門職やボランティアがサポートを行い、それぞれに役割をもち社会参加できる居場所「みさきのわ」や「ゆめカフェ」を設立し支援しています。



ゆめカフェ



岬町社会福祉施設等連絡会会議

岬町社会福祉施設等連絡会の構成一覧

社会福祉法人	ほたる ケアハウスほたる
社会福祉法人	全電通近畿社会福祉事業団 知的障害者総合福祉施設 愛の家
社会福祉法人	順風会 ほほろ淡輪デイサービスセンター
社会福祉法人	岬町社会福祉協議会

その他の地域福祉事業

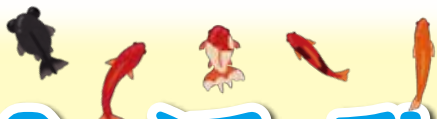
- ・ 岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進
- ・ 福祉総合支援相談事業
- ・ 福祉資金貸付事業
- ・ 緊急一時食料支援
- ・ 地域企業による社会貢献活動の推進
- ・ ひとり親家庭義務教育入学祝金支給事業
- ・ カラオケ大会
- ・ ゲートボール大会 など

新型コロナウイルス感染症に伴う支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症特例貸付制度
- ・ 外出自粛高齢者・障がい者等への見守り支援活動



動 情 報 社 委 員 会 活 動



深日地区

深日地区福祉委員会

令和4年度

主な事業計画

ふれあい喫茶



毎月第3水曜日
午前10時～正午

グランドゴルフ大会

11月に
実施予定



福祉委員会研修会

1月に予定



☆深日保育所

クリスマス会への協働参加

☆深日小学校

- ・平和教育体験学習
- ・体験学習（車いす・昔の遊び・昔の暮らし）
- ・ふれあい喫茶での交流活動
- ・見守り隊キッズ Eye ボランティア



☆岬中学校

- ・ふれあい喫茶での軽就労支援
- ・人権講演会への参加



ふれあい給食サービス



ふれあい・いきいきサロン

各地区で年2～3回
合同いきいきサロン1回



過去2年間は、コロナ禍の為に中止となった事業が多く、今なお実施されていない事業もあります。今年度は是非とも、工夫しながら実施できるよう活動を進めていきたいと考えています。

深日地区福祉委員会

多奈川地区

多奈川小学校恒例のたけのこ掘り

新年度が始まってすぐの4月13日、多奈川地区財産区の皆さまのご協力により、恒例のたけのこ掘りを行いました。きれいに手入れされた山につくと、「わあ、たくさん出てる!」「早く掘りたい!」と子どもたちから声が上が



るほど、たくさんのはたけのこがよきよきと頭を出してました。財産区の方から掘り方を説明していただき、たてわり班ごとに活動開始。高学年の子どもたちは、それはもう、慣れた手つきでどんどん掘り起こしていきます。額に汗を光らせながら、大物と格闘する子、「大きいのはあかん。持って帰るのも大変だし、料理するのも大変だから。」と経験を活かし、掘るたけのこを選ぶ子、低学年の子に、「これ、ええんちゃう?」と掘りやすそうなたけのこを選んであげる高学年など。子どもたちはたっぷりたけのこ掘りを楽しみました。1年生は「初めてだったけど、でっかいたけのこがとれてうれしかったです。」と感想を発表しました。収穫した約三百本のたけのこは、家へのお土産として、一人4・5本ずつ持って帰りました。かなり重たかったようです。

こんな素敵な恒例行事ができるのも、財産区の方のご協力ご配慮があつてのことです。本当に感謝いたしております。

校長 宇野 睦美

地域の福祉活動



孝子地区

コロナ禍の「見守り訪問」

令和2年3月、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、人々が集まることができなくなりました。そのため「見守り訪問」活動をしています。ボランティアが二人一組になり「いきいきサロン」に参加してくださった方のお宅を訪問。マスクの着用、手指の消毒、会話は風通しの良いところで、この3点をこころがけています。1回目は7月。暑いときだったので熱中症対策についてのパンフレットを持っていき、それを見ながらお話をし、またその方の近況なども伺いました。「外出することが少なくなり会話することが減ったよ」と言われ、突然の訪問も喜んでくれました。

秋は季節の変わり目なので「免疫力を高める食事のポイント」というチラシを持参。また「還付金詐欺に気を付けてください」とお伝えしました。

コロナ禍も長引き、見守り訪問は8回になりました。直接お会いして話をするので元気に過ごされている様子がわかります。

幸いなことに去年11月頃はコロナ感染者が減っていたので「いきいきサロン」を開催できました。「おしゃべり会」です。久しぶりにみんなで集まり、おしゃべり満開で楽しいひと時を過ごすことができました。

この6月に「キブリ団子づくり」を予定しています。これが「見守り訪問」にならないで皆さんに参加していただけることを願っています。

茂野 重美



淡輪地区

淡輪小学校の共育について

4月1日に教職員へ紹介した詩があります。

子どもに だめな子なんて ひとりもない
どの子だって みんな みんな
人の世の美しい未来を やさしく平和な未来を
つくり出す 種を ちゃんと
ひとりずつ 心に持って生きているんだ

長田 大三郎

コロナがあり、戦争があり、地震があり…未来はどうなっていくのだろうと思うときがあります。

ある子どもが人権総合のまとめに次の文章を書きました。
差別やいじめは昔から現在まで続いてしまっている。でも、目の前にある差別やいじめを少しでも止めたりすることが大事だと思う。そういう細かい一つ一つをなくしていけばなくなると思う。一人ひとりが協力すればこの現在の社会、未来を変えられるかもしれない。

また、キューピークラブに参加したある子どもがぼろ淡輪デイサービスセンターの方たちと交流したときの感想を次のように書きました。

今まで初めてのリモートでの交流で、とまどいながらも当日が迎えられるのもうれしかったです。実際に会えないのがすごくさびしく、悲しかったですが、すごく楽しかったです。紙芝居やマジックでは初めてキューピーでの交流だったメンバーも堂々と話しています。いいなと思いました。私は今年で最後ですが、次回こそは会って、交流し楽しみたいと強く思います。交流し、楽しめたところがキューピークラブだと改めて思いました。

子どもたちの『ちゃんとひとつずつ心に持って』いる『人の世の美しい未来を やさしく平和な未来をつくり出す種を』見つけ、見守り、育てていけば未来はきっとよくなるーと確信しています。これも皆さまが子どもたちを、教職員を学校をあたたく見守ってくださっているおかげです。

本当にいつもありがとうございます。

校長 川上 誠治

ほほえみだより

【連絡先】 岬町社会福祉協議会内 ほほえみ(岬町介護者家族の会)
事務局 TEL 072-492-0633 / FAX 072-492-5701

こんにちは！ 岬町介護者(家族)の会「ほほえみ」です

“ウイズ コロナ”の毎日ですが、感染対策には十分に配慮しつつ「今できることは何か」を考え活動しています。昨年度は2回の集いとリフレッシュ行事・クリスマス会を開催すると共に、3回の啓発資料の発行により、健康維持に役立つ情報をお届けしました。

また、折に触れて役員による電話で近況等をお尋ねする活動もしてきました。

「ほほえみ」は今年で28年を迎えます。時代の変化に対応した活動内容となるよう、基本理念である「信頼関係を軸とするつながり」を大切に、介護者家族の居場所づくりに引き続き努力していきたいと思っております。「集う、楽しむ、学ぶ、つながる、共有する」場をこれからもお届けしていきます。

大野 静美



会員募集中!!

介護のこと、1人で悩んでいませんか？
1人で抱えこまないで…。

わかりあえる仲間があなたを待っています。いっしょに“ほほえみ”をもって介護しませんか？

岬町社協地域包括支援センター通信

高齢者に多い主な の病気

☆【白内障】

白内障は、眼球内のレンズである水晶体が白く濁る病気です。

主な原因は、加齢によるものがほとんどですが、糖尿病やアトピー性皮膚炎なども原因となります。手術をすれば視力が回復する病気です。

☆【緑内障】

緑内障は、眼圧が上がることで眼から視神経に見えたものの情報を伝える視神経乳頭が圧迫されるため、視野が欠けて見えるようになる病気です。初期症状がないのが緑内障の特徴で、失明原因第1位の目の病気が緑内障です。

☆【加齢黄斑変性症】

加齢黄斑変性症は、主に加齢が原因で網膜中心部の黄斑に障がいが生じ、視界の中心部のゆがみや視力の低下をきたす病気です。

※定期的な検査を受けることが大切です。



連絡先 ▶ 岬町社協地域包括支援センター ☎072 (425) 9058 / FAX072 (425) 9059
E-Mail:hokatu@misakisyakyo.jp

参加者募集!

ともに支え、ともに暮らし、ともに生きる

地域の移動サービスボランティア養成研修会

地域に公共交通が少ないことや運転免許証を返納したことで、通院や買い物等の移動が困難な方々が増加しています。このような「移動・外出」の問題に対して、地域でお互いが支え合う支援ができるよう、乗降介助の実習や活動をする際の心構え等の研修会を開催します。是非この機会に、ボランティア活動の一步を踏み出してみませんか?

受講
無料

日時 令和4年7月30日(土) 10時～13時 (受付: 9時30分～)

講師 関西STS連絡会 事務局 ^{かきくぼ} ^{こうじ} 柿久保 浩次 氏

定員 20名 (新型コロナウイルス感染拡大防止の人数になります)

開催場所 岬町社会福祉協議会 (住所: 岬町深日3238-24)

申込期限 令和4年7月4日(月)～7月22日(金)

対象者 地域の「移動・外出」支援について興味・関心がある方

申込方法 下記まで電話・FAXにてお申込みください。

※当日は、講義と駐車場において安全確認、乗降介助、声掛け等の実習がございます。なお、悪天候により、実習を中止し、講義のみ等に変更する場合があります。

【新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、マスク着用・検温・手指の消毒等のご協力をお願い致します。また、新型コロナウイルス感染拡大防止や自然災害等への対応状況等により講座を延期・中止することがありますので、予めご了承下さい。】

お申込み・お問合せ先 **社会福祉法人 岬町社会福祉協議会**

〒599-0303 岬町深日3238-24 TEL 072-492-0633/492-5700 FAX492-5701 E-Mail info@misakisyakyo.jp

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

※この講座は、岬町生活支援コーディネーター設置業務委託事業で開催します。

令和4年度試験【令和4年10月1日採用】

社会福祉法人 岬町社会福祉協議会 正規職員採用試験のご案内

～地域福祉に情熱があり、熱意を持って、行動的に取り組む職員を募集します～

採用試験は、**人物重視・面接重視** です!! **申込受付期間 令和4年7月22日(金)まで**

1. 試験職種、採用予定人数及び受験資格

試験職種	採用予定人数	受験資格 (次の条件をすべて満たす人)
(一般職員) 社会福祉士 又は 精神保健福祉士	1名	①昭和62年4月2日以降に生まれた人 ②社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有する人 ③普通自動車運転免許を有し自動車の運転ができる人 (AT車限定も可)

2. 試験日、試験場所

区分	方法	内容
一次試験	書類選考	応募書類と課題論文で選考します
二次試験	個別面接	日時 令和4年8月11日(祝) 場所 岬町社会福祉協議会

給与、勤務条件、受験手続等の採用試験の詳細は、必ず本会ホームページをご覧ください。

(お問い合わせは、「職員採用担当」まで)

社会福祉法人 **岬町社会福祉協議会** 職員採用担当

〒599-0303 岬町深日3238-24 TEL 072-492-0633/492-5700 FAX492-5701 E-Mail info@misakisyakyo.jp

赤ちゃん紹介コーナー



いつも笑顔で優しく、
元気に育ってね!

よく食べ よく寝て
よく笑う
おめでとうさんです!

R4. 3. 19生まれ
深日 金澤 玄ちゃん

いっぱい
笑って明るく
元気に育ってね



R3. 6. 21生まれ
淡輪 高野 桃ちゃん



R3. 5. 12生まれ
望海坂 横松 和幸ちゃん

岬町にお住まいの生後1歳未満の
赤ちゃん写真を大募集しています!

松尾 光造さん(93歳)

元気に暮らせる知恵



元気でまっせ! 93歳になりました。私の日課は体操と野菜づくりです。他に地域の喫茶、体操、グランドゴルフに参加して元気に日常生活を楽しんでいます。健康意識のはじまりは、妻の骨折治療訓練に付添った時、体験した「年齢に負けない体力づくり」を考えるようになりました。岬町の高齢者健康増進を推進する体操教室に入學、学んだ知識を生活に生かせる、全身を柔らげる「くねくね体操」を、80歳の正月を起源に、毎朝食前の30分間実行し、その日の生活の始まりの体調診断を日課に13年。薬のいらぬ健康な生活を続けています。私の元気の源は、実行する勇氣です。



灯台



父が残してくれた言葉から

「空気を踏んだら危ないで」「信号は赤のほうがええんや」。これは今は亡き父が生前、小学生の私に向かってよく口癖のように言っていた言葉である。

「空気を踏んだら危ないで」の意味は、父曰く、階段を上下するときには踏みはずして、転倒しないように下を見ながら注意して歩きなさいということであり、また当時は舗装されていない道路にくぼみがあつて、そこに入り込むと足をくじいたりすることがあるから注意しなさいということであつた。「信号は赤のほうがええんや」の意味は、青信号だつたら早く行かないと赤になるからと思つて、急いで走つたりして横断歩道や交差点を渡るようになる。そのとき、左右を見ていないから急に車が飛び出してきたりしても避けることができないというのである。反対に赤信号だつたら、赤だから信号の手前までゆつくり歩いて行くかというところで、左右の周りの状況を観察しながら、落ち着いて歩いて行けるからである。

このようなさりげない言い回しで、父は子どもの私に安全面にお

いて重要なことを論じてくれたのである。それは現在の私にも当てはまる。高齢者になった私はあのとときの父の言葉をかみしめて、安全に注意して日常生活を送っていきたいと思う気持ちが強くなった。

平山 隆信

善意をありがとう

(受付3月1日~5月31日)

○10,000円

淡輪地区 故 堀田 和也様
(淡輪地区福祉委員会へ)

編集後記

コロナ禍の中、3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークとなり、多少の開放感を味わい、新型コロナの脅威は徐々に後退しつつある様に見える中、今度はロシアによるウクライナ侵攻で、脅威を与えられ人間や社会のあるべき姿の理想を、どこに求めるべきか見つけにくい時代になった様に思います。

一日も早く日常が戻り、平和な日々を繋げる世の中になる事を願います。

小西 知子